

# 下呂市金山市民会館

平成20年4月1日 竣工



このトーテム・ポールは、米国アラスカ州ケチカニ市から友情の証として1989年、旧金山町に贈られたものです。今回の金山市民会館の竣工に合わせ、金山振興事務所1階玄関ロビーから金山市民会館3階大集会室に移設しました。



これは東海道線で、急行旅客列車を牽いていたC57機関車の動輪です。昭和49年10月、旧金山市民会館竣工の際に、当時の飛騨金山駅長 蓑輪茂氏より寄贈されたものです。この動輪は、新しい市民会館に引き継がれ、会館シンボルとして1階ローカ壁面に展示させていただきました。

## 施設の概要

【施設の目的】 この施設は、老朽化が目立つ金山市民会館周辺の公共施設を総合的に見直し、一体的に整備する事業「金山市民会館周辺公共施設整備事業」の一環として、下呂市南部の生涯学習センターとしての機能充実を図ることを目的に実施したものです。

【施設の内容】 従来の市民会館に耐震補強と増築改築を行い、1階は図書館、児童館、事務室を整備、2階は内装を改修し金山公民館機能を移転、3階はステージの一部拡張や照明設備等を更新しホールの充実を図りました。また、バリアフリー化を進め、エレベーターを設置しました。

【位置】 下呂市金山町金山2294番地(2,240㎡)

【構造】 鉄筋コンクリート3階建

【建物の面積】 1階822㎡ 2階716㎡ 3階716㎡ R F 36㎡  
合計2,290㎡ (1階の内、児童館部分274㎡)

【工期】 着工 平成19年6月29日  
完成 平成20年3月25日

【事業費】 設計監理 5,460千円 (655千円)  
本体 334,950千円(40,153千円)  
電気設備 54,600千円 (5,075千円)  
機械設備 105,000千円(11,867千円)  
備品購入 14,000千円 (2,000千円)  
514,010千円(59,750千円)  
( )内は、児童館部分の費用の再掲です。

【財源内訳】 補助金(国) 10,527千円 (児童厚生施設整備費補助金)  
補助金(県) 10,527千円 (岐阜県児童福祉等対策事業補助金)  
起債 455,000千円 (合併特例債)  
一般財源 37,956千円